

# 令和3年度事業報告書

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標

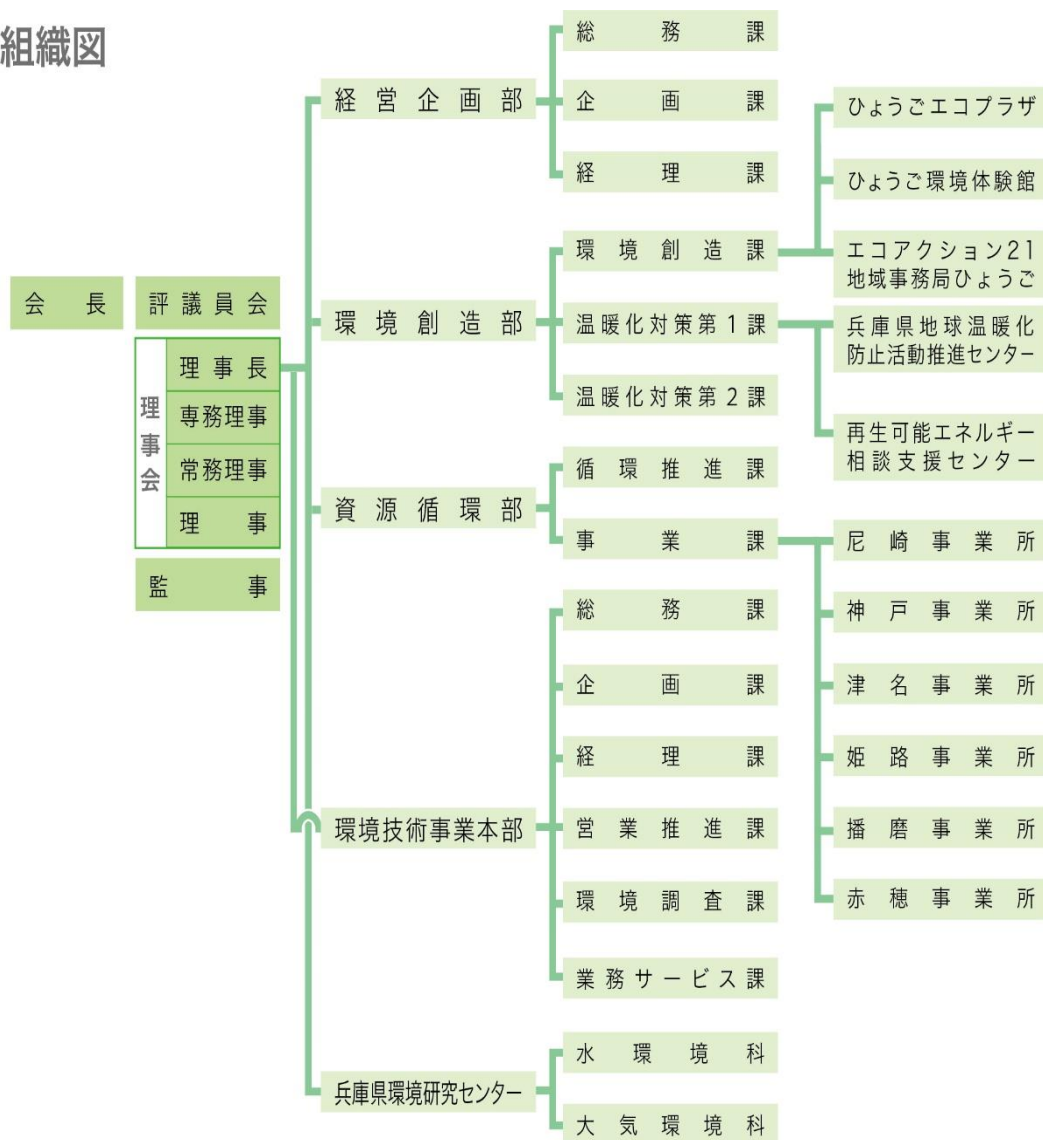


公益財団法人 ひょうご環境創造協会  
Hyogo Environmental Advancement Association

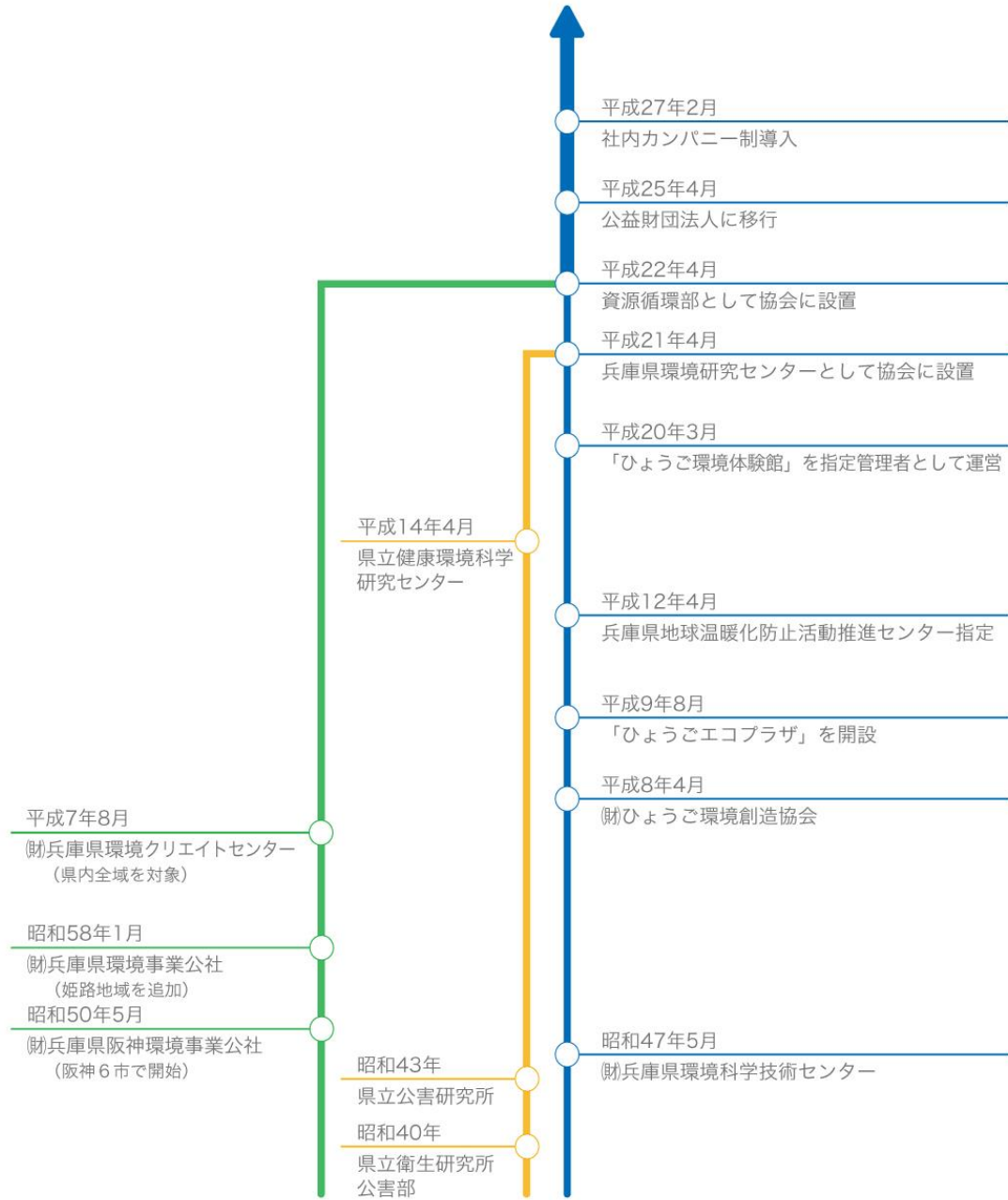
公益財団法人ひょうご環境創造協会は、令和4年（2022年5月）にその前身である財団法人兵庫県環境科学技術センターの設立（昭和47年5月）から50周年を迎えます。

## (令和3年度)

### 組織図



# 沿革



## 目 次

■ 令和3年度 事業報告	1
(1) コロナ禍による協会の事業運営への影響	1
(2) 新中期経営計画の着実な実施	1
(3) 各部・センターの主な目標と評価	2
1 経営企画関係事業	4
(1) 新中期経営計画（計画期間：2019(令和元年度)～2023年度）の着実な実施	4
(2) マネジメントシステムの推進	4
(3) 計画的な人材育成の推進	4
(4) 積極的な広報普及活動の展開	5
2 環境創造事業	6
(1) 地球温暖化防止の推進	6
(2) 生物多様性保全の推進	10
(3) 環境学習・教育の推進	10
(4) 環境保全創造活動の促進	13
3 循環型社会推進事業	14
(1) 廃棄物処理等に係る市町等支援事業等	14
(2) 廃棄物の再資源化事業（セメントリサイクル事業）	16
(3) 廃棄物の最終処分事業（フェニックス受託事業）	17
(4) 環境ビジネスの推進（ひょうごエコタウン構想）	17
(5) 普及啓発事業	18
4 環境調査・測定分析事業（環境技術事業本部）	21
(1) 営業活動の推進	21
(2) 環境調査事業	21
(3) 測定分析事業	22
5 環境研究事業（兵庫県環境研究センター）	25
(1) 多様化する環境問題への対応	25
(2) 環境危機への対応	27
6 国際協力事業	28
7 太陽光発電事業	29
8 当該法人の状況に関する重要な事項	30
9 事業報告の附属明細	33

## 令和3年度 事業報告

(公財)ひょうご環境創造協会は、環境の保全と創造に資することを目的に、地球規模から地域レベルまで幅広い環境問題に対し、県民、NPO、事業者、行政とともにSDGsの理念を共有しながら一元的・総合的に取り組み、「環境適合型社会」の形成を目指している。

令和3年度は、令和元年6月に策定した新中期経営計画を着実に推進し、コロナ禍であっても公益法人としての使命・役割を果たしていくとともに、経営管理の徹底を図った。

### (1) コロナ禍による協会の事業運営への影響

3年目を迎える新型コロナウイルスは、県民の社会・経済活動に大きな影響を与え、協会における廃棄物処理事業等の「社会インフラ事業」、環境調査・測定分析事業や環境研究事業等の「社会インフラを支える事業」など、生活に密接に関連する事業のほか、環境学習や普及啓発に関する事業も少なからず、その影響を受けた。

そのため、コロナを機に定着した情報通信手段の活用や安全衛生体制の徹底など、感染防止に配慮しながら、事業を進めるとともに、コロナ禍における社会経済情勢の変化が、協会の経営状況に悪い影響を与えることがないように、事業手法の見直しや収入に見合った経費節減等に努め、経営管理の徹底を図った。

### (2) 新中期経営計画の着実な実施

#### ① 将来ビジョン実現に向けた取組

将来ビジョンを踏まえ、社会経済情勢の変化や県民ニーズ等に対応しつつ、協会の持つ多様な機能を活かし、公的セクターとしての役割を担う事業を積極的に推進した。

また、兵庫県と緊密に連携し、地球温暖化対策を推進するほか、新たな成長事業の創造に努めた。

#### ② 経営の安定化に向けた取組

公益財団法人として、環境創造事業、循環型社会推進事業及び環境研究事業の公益事業を適切に実施するため、測定分析事業や太陽光発電事業の収益事業を着実に行うとともに、県、国等の補助金を確保するなど、必要となる予算確保や人員体制の整備を円滑に実施し、協会経営の安定を図った。また、事務事業のスクラップ&ビルドや経費節減の徹底、年次評価の実施等、経営管理の徹底を図った。

[経営安定に向けた主な取組内容]

- ア 独立採算を旨とした環境調査・測定分析事業の推進
- イ セメントリサイクル事業の収益確保に向けた営業活動の強化
- ウ 太陽光発電事業の着実な推進
- エ 業務量に応じた職員配置による収益に見合う体制の構築

### (3) 各部・センターの主な目標と評価

#### 【経営企画部】

① 適正な予算執行の推進	
目標	・監事による月例監査を着実に実施するとともに、各部と連携した経費削減の取組を推進
取組	・令和元年度に策定した新中期経営計画の達成に向け、月例の監事監査の実施とともに、常勤役員・部長・センター長で構成する運営会議等を毎月開催し、事業の進捗状況に加え、収益事業をはじめとする収入状況や経費節減の進捗状況等の把握を行い、経営管理の徹底を図った。
評価	・新中期経営計画を着実に推進し、協会全体の経常収支、収益事業の経常収支とも黒字を達成した。
② 計画的な人材育成の推進	
目標	・業務に必要な資格の取得に向けた計画的な人材育成(資格取得目標3人以上)
取組	・職員の社会的資質及び技術力の向上を図り、協会の発展に寄与する人材を育成するため、最新情報の入手や技術習得のためのWebセミナー等への参加に加え、受験準備講習への参加や受験料を協会で負担するなど資格取得の支援も積極的に進めた。
評価	・当初目標を上回る計5人の合格者を得た。 (技術士1人、環境計量士2人、臭気判定士1人、第一種衛生管理者1人)

#### 【環境創造部】

① うちエコ診断事業等の取組による地球温暖化防止の推進	
目標	・うちエコ診断事業 1,000件以上
取組	・家庭を対象としたうちエコ診断事業、地球温暖化防止活動推進員活動促進事業等の取組により、温暖化防止活動の一層の推進を図った。
評価	・県民を対象に587件のうちエコ診断を行ったことにより、907tのCO <sub>2</sub> 排出量を削減できた。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンライン診断を活用しているが、訪問診断の中止等の影響もあり目標を下回った。
② ひょうご環境体験館の運営による環境学習・教育の推進	
目標	・ひょうご環境体験館利用者数 32,000人
取組	・県民、特に次世代を担う子ども達の環境意識を高め、行動変容につなげていくため、令和3年3月にリニューアルした施設や展示内容を効果的に活用した。 ▶ デジタル解説や学習ノートでゾーニング展示効果を強化 ▶ 刷新された映像機器やソフトと特別プログラムとを連携 ▶ 屋根付き屋外施設を活用し新プログラムを開発 ▶ 補修されたアクセス路を活用したプログラム開発

	評価	・新型コロナウイルス感染拡大防止の影響は大きく、館外イベントはほぼ全部中止されたが、プログラム参加人数の制限等の対応策が功を奏して、利用者数が8,669人まで回復した。
--	----	--

### 【資源循環部】

①	廃棄物の再資源化事業（セメントリサイクル事業）推進のための年間受入目標量の確保	
	目標	・焼却灰等の受入量 23,040 t（焼却灰 17,500t、ばいじん 5,540t）
	取組	・県と連携し、県内の市町に対して、セメントリサイクル事業の活用を働きかけた。また、他府県の市町村に対し、施設に余裕のある範囲内でセメントリサイクル事業への搬入を働きかけた。
	評価	【実績】 22,427 t（焼却灰 16,948 t、ばいじん 5,479 t） ・年度途中の施設運転終了や施設運転開始延期などに伴い受託量が減少した。 (参考) R2 実績：23,492t（焼却灰 16,528t、ばいじん 6,963t）

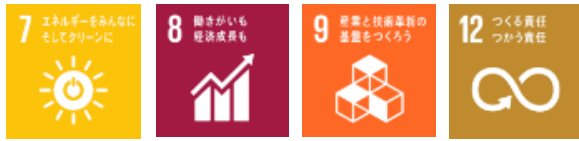
### 【環境技術事業本部】

①	発注情報の早期収集等、積極的な営業活動の推進	
	目標	・環境調査・測定分析事業の年間総受託額 530 百万円（環境調査 94 百万円、測定分析 436 百万円）
	取組	・発注情報の早期収集等により営業活動を積極的に推進するとともに、課長会議を毎月開催、受注状況、外部委託、機器の修繕その他の経費執行状況と収支見込を共有し、経費の節減に努めた。
	評価	・年間目標をやや下回る受託額（▲約 1.1%）524 百万円（環境調査 77 百万円、測定分析 447 百万円）となったが、経費節減により、経常収支ベースでの黒字を確保した。 ・引き続き、積極的な営業活動と経費節減に努める。

### 【兵庫県環境研究センター】

①	多様化する環境問題への対応	
	目標	・県内の環境の状況や汚染物質発生源を的確に把握・解析し、多様化する環境問題に対応（研究成果の発表 25 件、共同研究 6 件）
	取組	・国立環境研究所及び他府県立環境研究所等と共同研究を推進し科学的知見を集積するとともに、県域の環境問題の解決に向けた調査研究を県委託や国等の外部資金を活用し実施した。
	評価	・研究成果発表数は、意欲的な目標を立てたが、前年度から続いている新型コロナウイルスの影響などにより、前年と同数の 19 件となった。その中でも、大気環境学会、水環境学会等で精力的に研究発表を行い、2021 年度水環境学会地域水環境行政研究委員会優秀論文賞及び日本環境化学会の第 28 回環境化学論文賞を受賞する等、学会から高い評価を得た。 ・共同研究数は 6 件で、目標を達成した。

## 1 経営企画関係事業



### (1) 新中期経営計画（計画期間：2019(令和元年度)～2023年度）の着実な実施

事業計画の具体的な取組とその時期を定めた実施計画を策定し、役員、部長級で構成する運営会議等において、毎月、取組状況を点検するとともに、監事による月例監査や各部門の定例会議において、進捗状況等を的確に評価し、経営管理の徹底を図った。

(単位：百万円)

区 分	R元 実績	R 2 実績	R 3	
			目標	実績
正味財産増減額 ※	23	26	20	116
（うち調査分析）	(37)	(34)	(△26)	(30)
（うち資源循環）	(11)	(△44)	(37)	(67)

※ 県等への寄附金（R元年度：40百万円、R 2年度：50百万円、R 3年度：50百万円）を除く。

### (2) マネジメントシステムの推進

#### ① 環境経営管理の推進

自らの環境負荷を継続的に改善することにより、事業体としての社会的責任を果たすため、エコアクション21（EA21）の認証を維持した。

#### ② 品質管理の推進

顧客に提供する商品及びサービスの品質を向上するため、ISO9001及びMLAP※の認証を維持した。

※ MLAP（エムラップ：計量法特定計量証明事業者認定制度）：ダイオキシン類などの極微量物質をより正確に計量し、その計量証明結果の信頼性を確保する制度

### (3) 計画的な人材育成の推進

職員の社会的資質及び技術力の向上を図り、協会の発展に寄与する人材を育成するため、経験に応じた職務能力の向上・意識改革を目的とした階層教育の実施、最新情報の入手や技術習得のためのセミナー・事例発表会等への参加を進めるとともに、資格の取得に向け、計画的な人材育成に努めた結果、環境計量士に複数の資格取得者が出るなど、今後の活躍が期待される。

#### ○ 事業計画・事業登録に必要となる主要資格


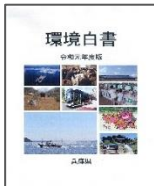
区 分	R元 実績	R 2 実績	R 3	
			目標	実績
主要資格合格者数	2人	2人	3人以上	5人※

※ 技術士1人、環境計量士2人、臭気判定士1人、第一種衛生管理者1人



#### (4) 積極的な広報普及活動の展開

県民、団体、事業者、市町等に対し、協会機関誌、ホームページ、E-mail 通信などにより協会の活動情報や各種環境情報をタイムリーに発信した。

事業名	事業内容・実績				
協会機関誌「エコひょうご」の発行 	環境に係るさまざまな情報を発信するため、協会会員をはじめ、県民、事業者等に対し、協会の機関誌「エコひょうご」を季刊発行した。				
	区分	R元 実績	R2 実績	R3	
				目標	実績
	エコひょうご 発行回数	4回	3回	4回	4回
ホームページ、 メディア等による 情報発信	協会の活動情報や各種環境情報を発信するため、ホームページやパンフレットなどを活用するとともに、メディアに対して積極的に発信した。 令和2年度に見直したホームページのスマホ対応により、そのアクセス件数も着実に増えている。				
	区分	R元 実績	R2 実績	R3	
				目標	実績
	HPアクセス 件数	234,490件	260,908件	240,000件	299,608件
E-mail 通信の発信	環境関連情報等を迅速かつ幅広く提供するため、E-mail を活用して、週1回登録者に対して発信するとともに、登録者の拡充に努め、概ね目標とする登録者を得られた。				
	区分	R元 実績	R2 実績	R3	
				目標	実績
	E-mail 通信 登録者数	3,224人	3,359人	3,300人	3,320人
環境関連書籍等の 販売 	兵庫県の環境情報を発信するため、兵庫県版環境白書や兵庫県版レッドデータブック等の書籍販売を行った。				


## 2 環境創造事業




### (1) 地球温暖化防止の推進


2050年カーボンニュートラルの実現に向け、さらなる地球温暖化対策を推進するため、「化石燃料の消費を減らす」、「再生可能エネルギーを増やす」ことを目標に事業を展開した。

#### ① 家庭における省エネ・CO<sub>2</sub>排出量削減の推進

事業名	事業内容・実績			
「うちエコ診断」事業 	家庭での省エネ・CO <sub>2</sub> 排出量削減を支援するため、電気・ガス・水道・ガソリン料金や、床面積、冷蔵庫の大きさ等について専用ソフトに入力し、どこから、どれだけCO <sub>2</sub> が排出されているかを分析することにより、それぞれの家庭のライフスタイルに応じた省エネ対策を提案する「うちエコ診断事業」を実施した。 令和3年度は、引き続きオンライン診断に注力したが、イベント会場での診断や訪問診断を中止した影響もあり目標を下回った。			
	区分	R元 実績	R2 実績	R3 目標
	うちエコ診断受診者数	1,026件	845件	1,000件
	事業実施によるCO <sub>2</sub> 排出削減量	1,567t	1,339t	1,527t
家庭における省エネ・蓄エネ支援事業	既築住宅のエネルギー利用の効率化、CO <sub>2</sub> の排出量の削減を推進するため、蓄電システムや太陽光発電システムを新たに設置する費用の一部を補助し、ほぼ目標件数に達した。 ・補助金額 蓄電システム 定額 4万円 太陽光発電システム 定額 6万円 蓄電システムと太陽光発電システム 定額 10万円			
	区分	R元 実績	R2 実績	R3 目標
	蓄電システム設置補助件数	622件	517件	200件
	蓄電システムと太陽光発電システム設置補助件数	—	53件	15件
	太陽光発電システム設置補助件数	—	—	—
				実績
				14件
	※ R元年度の蓄電システム補助額は、定額5万円			



事業名	事業内容・実績												
省エネ家電買い替え促進事業 	家電製品のうち省エネ効果の高い冷蔵庫について、スマートライフマイスターの店を通じて、統一省エネラベルが省エネ達成基準 100%以上または5つ星製品に買い替える費用の一部について補助を行ったが、販売店のイベント自粛等もあり目標を下回った。 ・補助金額 定額1万円/1家庭 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">R元 実績</th> <th rowspan="2">R2 実績</th> <th colspan="2">R3</th> </tr> <tr> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>冷蔵庫買い替え設置補助件数</td> <td>991件</td> <td>178件</td> <td>200件</td> <td>137件</td> </tr> </tbody> </table> ※ R元年度は、1家庭当たり定額3万円補助 ※ R2年度以降は、うちエコ診断の受診を条件に補助	区分	R元 実績	R2 実績	R3		目標	実績	冷蔵庫買い替え設置補助件数	991件	178件	200件	137件
区分	R元 実績				R2 実績	R3							
		目標	実績										
冷蔵庫買い替え設置補助件数	991件	178件	200件	137件									


## ② 事業者の環境への取組の推進

事業名	事業内容・実績												
エコアクション21 (EA21)の導入促進 	県内事業者が、CO <sub>2</sub> 排出量削減や廃棄物の削減など環境への取組を効果的、効率的に行うため、EA21*の地域事務局として、事業者の環境経営の相談に応じ、EA21の認証・登録を支援している。令和3年度も、ほぼ目標件数に達した。 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">R元 実績</th> <th rowspan="2">R2 実績</th> <th colspan="2">R3</th> </tr> <tr> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>EA21認証取得事業者数</td> <td>21件</td> <td>23件</td> <td>20件</td> <td>17件</td> </tr> </tbody> </table> ※ EA21: 中小事業者等の幅広い事業者が、自主的に「環境への関わりに気づき、行動することができる」取り組みやすい方法として、環境省が策定した日本独自の環境マネジメントシステム (EMS)	区分	R元 実績	R2 実績	R3		目標	実績	EA21認証取得事業者数	21件	23件	20件	17件
区分	R元 実績				R2 実績	R3							
		目標	実績										
EA21認証取得事業者数	21件	23件	20件	17件									


事業名	事業内容・実績			
中小事業者省エネ設備等導入支援事業 <b>拡充</b>	<p>省エネ診断を受診し、専門家から助言・提案を受けた省エネ設備への更新・改修や太陽光発電システムの設置に要する工事費用等の一部を補助した。コロナ禍等による設備投資意欲の減退から、目標件数に達しなかった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象事業者 エコアクション21 又は ISO14001 の認証・登録事業所</li> <li>・補助対象設備 省エネ設備更新・改修、建物の省エネ改修、太陽光発電システムの設置、オンサイト PPA モデル事業等</li> <li>・補助金額 設備導入経費の 1/3 (上限 100 万円、オンサイト PPA モデル事業は上限 200 万円)</li> </ul>			
	区分	R元 実績	R2 実績	R3 目標
	補助件数	3件	14件	20件
				R3 実績
				7件

### ③ 再生可能エネルギーの創出

事業名	事業内容・実績			
兵庫県施設を活用した太陽光発電実証事業  こころの医療センター： コンクリートブロック据置型  三木北高等学校： スチール柱据置型	<p>県立施設を活用して、安価で普及可能な陸屋根（建物の屋上）への設置工法の検証を行い、陸屋根を活用した太陽光発電設備の導入促進を図っている。</p> <p>【実証実験期間】平成25年度～20年間</p>			
	設置場所	概要		
	県立ひょうごこころの医療センター	発電規模：114.6kW 関西電力連携開始：H25.9.20 R元発電量 120,013kWh(実績) R2発電量 122,836kWh( ) R3発電量 120,939kWh( )		
	県立三木北高等学校	発電規模：101.2kW 関西電力連携開始：H25.7.23 R元発電量 118,395kWh(実績) R2発電量 122,941kWh( ) R3発電量 115,387kWh( )		
地域創生！再エネ発掘プロジェクト事業	<p>地域資源を生かした地域主導の再生可能エネルギーの導入を促進するため、新たに再生可能エネルギー発電設備の導入を行うNPO法人等に対して、県と一体となって技術的支援や整備資金の一部の無利子貸付を行った。</p> <p>また、自立・分散型再生可能エネルギーシステムを構築する先導的モデル事業の設備整備費用の一部を補助した。</p>			
	区分	R元 実績	R2 実績	R3 目標
	貸付件数(延べ) ・金額(総額)	16件 138,699,080円	16件 138,699,080円	17件 168,699,080円
	補助件数・金額	—	1件・20,000千円	1件・20,000千円
				R3 実績
				17件 168,699,080円
				1件・20,000千円


事業名	事業内容・実績																										
ひょうごグリーンエネルギー・ブルーカーボン基金事業	<p>県民からの寄附金、イベント会場等での募金（カーボンオフセット募金）、森林開発事業者からの寄附金により「ひょうごグリーンエネルギー・ブルーカーボン基金」を積み立てた。</p> <p>積み立てた基金は、県民等が設置する再生可能エネルギー発電設備の設置や、森林の保全・再生を行う森づくり事業等に活用した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">R元 実績</th> <th rowspan="2">R2 実績</th> <th colspan="2">R3</th> </tr> <tr> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>寄附等収入総額</td> <td>3,537千円</td> <td>16,992千円</td> <td>11,640千円</td> <td>5,507千円</td> </tr> <tr> <td>県民発電施設設置件数(延べ)</td> <td>20件</td> <td>20件</td> <td>20件</td> <td>20件</td> </tr> <tr> <td>森づくり事業補助件数</td> <td>—</td> <td>2件</td> <td>4件</td> <td>2件</td> </tr> </tbody> </table>					区分	R元 実績	R2 実績	R3		目標	実績	寄附等収入総額	3,537千円	16,992千円	11,640千円	5,507千円	県民発電施設設置件数(延べ)	20件	20件	20件	20件	森づくり事業補助件数	—	2件	4件	2件
区分	R元 実績	R2 実績	R3																								
			目標	実績																							
寄附等収入総額	3,537千円	16,992千円	11,640千円	5,507千円																							
県民発電施設設置件数(延べ)	20件	20件	20件	20件																							
森づくり事業補助件数	—	2件	4件	2件																							
再生可能エネルギー相談支援センター運営事業 	<p>再生可能エネルギーの一層の普及促進を図るため、再生可能エネルギー発電設備の導入に関する総合的な相談に応じるとともに、必要に応じて現地に専門家を派遣し、技術的なアドバイスを行った。</p> <p>また、小規模事業所を対象として省エネルギーに関する助言を行い、目標を上回る相談・助言を行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">R元 実績</th> <th rowspan="2">R2 実績</th> <th colspan="2">R3</th> </tr> <tr> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>相談・助言件数</td> <td>546件</td> <td>700件</td> <td>600件</td> <td>818件</td> </tr> </tbody> </table>					区分	R元 実績	R2 実績	R3		目標	実績	相談・助言件数	546件	700件	600件	818件										
区分	R元 実績	R2 実績	R3																								
			目標	実績																							
相談・助言件数	546件	700件	600件	818件																							

#### ④ 地球温暖化防止活動の推進

事業名	事業内容・実績																
地球温暖化防止活動推進員活動支援事業 	<p>地球温暖化対策の重要性について、県民への普及啓発等に取り組む「兵庫県地球温暖化防止活動推進員」のグループ活動に対して、活動費を支援し、目標の活動件数を達成した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">R元 実績</th> <th rowspan="2">R2 実績</th> <th colspan="2">R3</th> </tr> <tr> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>推進員の活動回数</td> <td>1,928回</td> <td>1,022回</td> <td>1,000回</td> <td>1,190回</td> </tr> </tbody> </table>					区分	R元 実績	R2 実績	R3		目標	実績	推進員の活動回数	1,928回	1,022回	1,000回	1,190回
区分	R元 実績	R2 実績	R3														
			目標	実績													
推進員の活動回数	1,928回	1,022回	1,000回	1,190回													
地域における地球温暖化防止活動促進事業	<p>地域における温室効果ガスの排出抑制を行うため、地球温暖化防止活動推進員研修会の開催、啓発資材の作成・配布、ホームページによる広報活動等により推進員活動の支援を行った。</p>																

## (2) 生物多様性保全の推進

「生物多様性ひょうご戦略」(平成31年2月改定)をもとに、県民への普及啓発や環境NPO・企業等の連携促進等を図った。

事業名	事業内容・実績				
生物多様性ひょうご基金事業 	生物多様性保全を推進するため、企業等からの寄附金を「生物多様性ひょうご基金」に受け入れ、県が選定した「ひょうごの生物多様性保全プロジェクト」の実践活動に対して助成しており、令和3年度は目標額を上回る寄附があり、目標以上の助成を行った。				
	区分	R元 実績	R2 実績	R3	
				目標	実績
	基金への寄附額	3,641千円	3,361千円	3,000千円	5,536千円
助成団体数	15団体	17団体	20団体	13団体	




## (3) 環境学習・教育の推進



### ① 「ひょうごエコプラザ」の運営

県民、環境団体等が行う環境学習に関するさまざまな相談に応じるため、環境学習・教育の支援拠点として助成金等による支援や講師の斡旋、環境関連情報の収集・発信、学習ツールの貸出を行い、情報発信・活動支援・交流促進を図った。

事業名	事業内容・実績			
エコツーリズムバス運行支援事業	県民に環境学習や自然とのふれあいの機会を提供しエコツーリズムを推進するため、20人以上の団体又は小中学校が、県内環境関連施設等において環境学習プログラムを実施する場合、バスの借り上げ経費の一部を助成した。			
	また、ひょうご環境体験館来館者1万人を目指して、令和2年度からは、環境関連施設にひょうご環境体験館を利用した場合に、一台当たり1万5千円を加算して補助している。			
	前年度に引き続き、令和3年度もコロナ禍の影響により利用台数は戻らなかったが、ひょうご環境体験館利用分は増加した。			
	区分	R元 実績	R2 実績	R3
			目標	実績
利用台数	290台	122台	300台	134台
うち環境体験館利用分	(3台)	(1台)	(50台)	(13台)


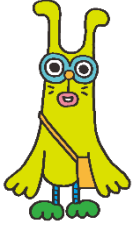


事業名	事業内容・実績												
<p>ひょうご出前環境教室の開催</p> 	<p>県民に対する環境学習の機会を提供するため、県内の小中学校や自治会等地域団体、子ども会等へ講師を派遣したが、コロナ禍の影響により目標に達しなかった。</p> <table border="1" data-bbox="547 385 1348 524"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">R元 実績</th> <th rowspan="2">R 2 実績</th> <th colspan="2">R 3</th> </tr> <tr> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開催件数</td> <td>143 件</td> <td>50 件</td> <td>150 件</td> <td>72 件</td> </tr> </tbody> </table>	区分	R元 実績	R 2 実績	R 3		目標	実績	開催件数	143 件	50 件	150 件	72 件
区分	R元 実績				R 2 実績	R 3							
		目標	実績										
開催件数	143 件	50 件	150 件	72 件									
<p>ラジオ番組による地球温暖化防止啓発事業</p> 	<p>各家庭や事業活動において、地球温暖化への対応がますます重要になってきている中で、ラジオ番組の提供を通じて、県民が地球環境を考えるきっかけづくりを行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ラジオ関西 毎週月曜日 13:00～13:25</li> </ul>												
<p>「触れる地球」を活用した学校での環境学習事業</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 2px;">中止</p>	<p>県内の中学生・高校生に対し、「触れる地球」を使った学習プログラムをモデル的に実施することとしていたが、コロナ禍のため中止した。</p>												
<p>ひょうご高校生環境・未来リーダー育成プロジェクト</p> 	<p>環境問題を科学的・論理的に捉え、解決策を考え、実践できる資質を身に付けた「次代の兵庫の環境創造を担うリーダー」を育成するため、高校生を対象に、講義・ワークショップ等の研修や有識者等との意見交換、課題解決プランの作成・提案を行う育成プロジェクトを、県や（公財）地球環境戦略研究機関などとともに実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加高校生 39名</li> <li>・研修日数 5日間</li> <li>・成果(提言等)発表のテーマ <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 若者に発信！地球温暖化ってな～に？</li> <li>➢ 環境NPOのコミュニティづくり</li> <li>➢ 普段の生活に溶け込む環境対策 ～関心がなくとも勝手に行動する社会～</li> <li>➢ 食品ロスの取組</li> <li>➢ 食品ロスを減らす方法 How to Reduce Food Loss in コンビニ編</li> <li>➢ 代替肉普及への提案</li> <li>➢ 太陽光発電を活用したい！ ～ソーラーシェアリングもっと増やそうの巻き～</li> <li>➢ バイオガスで sustainable なごみ捨て ～in Kobe～</li> <li>➢ 職場MM（モビリティマネジメント）の促進</li> </ul> </li> </ul>												

事業名	事業内容・実績								
環境学習事業の実施	<p>県民局等からの委託による環境学習の実施・支援を行った。</p> <p>(1)「地域でキラリ☆走る環境学習教室」(東播磨県民局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境にやさしい鉄道(JR加古川線)を利用し加古川の水生生物や植物等を観察する小学生向け環境学習教室</li> <li>・令和3年7月31日、8月7日、8月21日</li> <li>加古川駅乗車、小野市(加古川河川敷)、加東市(闘竜灘)</li> </ul> <p>(2)ひょうご環境保全連絡会東播磨支部 オンライン講演会運営</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工場団地内におけるエネルギー融通等をテーマとした講演会のオンライン開催の運営</li> <li>・令和3年12月16日</li> </ul>								
環境啓発事業  環境の集い	<p>環境配慮型ライフスタイルへの取組を促進するため、県と共同して各種啓発事業を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「環境の集い」開催(6月3日:兵庫県公館 オンライン配信)</li> <li>・「ふれあいフェスティバル in 神戸」出展 (10月16日~17日:メリケンパーク)</li> </ul>								
啓発資料提供  環境紙芝居	<p>県民の効果的な環境学習実施を支援するため、パンフレット・パネル、DVD等の学習ツールを地球温暖化防止活動推進員など県民へ貸し出した。</p> <table border="1" data-bbox="547 1189 1350 1285"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>R元実績</th> <th>R2実績</th> <th>R3実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>貸出件数</td> <td>41件</td> <td>5件</td> <td>9件</td> </tr> </tbody> </table>	区分	R元実績	R2実績	R3実績	貸出件数	41件	5件	9件
区分	R元実績	R2実績	R3実績						
貸出件数	41件	5件	9件						



## ② 「ひょうご環境体験館」の管理運営

事業名	事業内容・実績												
ひょうご環境体験館の管理運営   「ひょうゴン」	<p>環境学習拠点施設として県が整備し指定管理を受けている「ひょうご環境体験館」を活用し、地球温暖化防止などの企画展示を行うとともに、開発・蓄積した環境学習プログラムに沿った体験型環境学習を行った。</p> <p>また、新型コロナの影響もあり、目標を大きく下回ったが、リニューアルした施設やマスコットキャラクター「ひょうゴン」を活用し、施設の魅力アップに一層取り組み、昨年度実績は大きく上回った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">R元 実績</th> <th rowspan="2">R2 実績</th> <th colspan="2">R3</th> </tr> <tr> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ひょうご環境体験館利用者数</td> <td>32,139人</td> <td>4,727人</td> <td>32,000人</td> <td>8,669人</td> </tr> </tbody> </table>	区分	R元 実績	R2 実績	R3		目標	実績	ひょうご環境体験館利用者数	32,139人	4,727人	32,000人	8,669人
区分	R元 実績				R2 実績	R3							
		目標	実績										
ひょうご環境体験館利用者数	32,139人	4,727人	32,000人	8,669人									

## (4) 環境保全創造活動の促進

県民・NPO等の環境の保全創造活動への支援や連携・交流の促進を図ることにより、環境保全創造活動を推進した。

事業名	事業内容・実績												
環境保全創造活動支援事業	<p>県内で地球温暖化防止や生物多様性の普及啓発などの環境保全創造活動を行っている団体に対し、実践的活動費の助成を行ったが、コロナ禍により活動を自粛した団体があったことなどにより、目標件数を下回った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">R元 実績</th> <th rowspan="2">R2 実績</th> <th colspan="2">R3</th> </tr> <tr> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>活動費助成件数</td> <td>18件</td> <td>15件</td> <td>20件</td> <td>16件</td> </tr> </tbody> </table>	区分	R元 実績	R2 実績	R3		目標	実績	活動費助成件数	18件	15件	20件	16件
区分	R元 実績				R2 実績	R3							
		目標	実績										
活動費助成件数	18件	15件	20件	16件									

各助成区分の助成額及び助成可能期間等

区分名 (助成対象経費)	助成額 (上限)	<助成可能期間>			
		団体設立 1年	2年	3年	4年
(1) スタートアップ支援助成 助成可能回数:2年まで	20万円	← 団体設立前～設立後2年未満 →			
(2) 環境保全創造事業助成 助成可能回数:3回まで	20万円			→ 団体設立後2年以上経過 →	
(3) 環境パートナーシップ事業助成 助成可能回数:3回まで(パートナー団体も含む。)	30万円			→ 協働で事業実施 →	
(4) ひょうごの生物多様性保全 プロジェクト助成	20万円			→ ひょうごの生物多様性保全プロジェクト認定後 →	
※生物多様性ひょうご基金(企業等からの寄付金)から支出					


### 3 循環型社会推進事業



#### (1) 廃棄物処理等に係る市町等支援事業等

廃棄物処理施設の整備や災害廃棄物対策など、専門職員の少ない市町・事務組合では対応が難しい課題について、専門的な助言などの支援を行った。

事業名	事業内容・実績												
市町等の廃棄物処理施設整備や一般廃棄物減量化・処理に係る相談対応	<p>廃棄物処理施設の建設は 20～30 年に一度であるため、個々の市町等では必要なノウハウを持つ技術者確保が困難である。</p> <p>そこで、市町等からの要請に基づき、廃棄物処理計画<sup>*</sup>の作成、廃棄物処理施設に係る機種を選定・発注仕様書作成や廃棄物の適正処理等の相談業務を行った。</p> <p>※ 廃棄物処理計画：廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき市町等に策定が義務づけられている計画</p>												
市町等からの委託による廃棄物処理施設整備に係る事務支援事業	<p>新たに廃棄物処理施設を設置しようとしている市町等に対して、当該市町等の要請に応じ、当該市町等へ経験豊富な技術者を派遣し、技術的指導や助言等を行うこととしているが、令和 3 年度の支援要請はなかった。</p>												
市町等の廃棄物担当職員の研修	<p>新たにごみ処理事業に従事することになった市町等の職員を対象に、基礎的・実務的な知識の習得を目的とする研修会を Web 形式で開催した。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区 分</th> <th rowspan="2">R 元 実績</th> <th rowspan="2">R 2 実績</th> <th colspan="2">R 3</th> </tr> <tr> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市町等職員研修会 等参加者数</td> <td>64 人</td> <td>0 人 (中止)</td> <td>63 人</td> <td>51 人</td> </tr> </tbody> </table> <p>また、ごみ処理事業に従事する中堅職員を対象に、先進的な廃棄物処理・資源化施設の見学会を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。</p>	区 分	R 元 実績	R 2 実績	R 3		目標	実績	市町等職員研修会 等参加者数	64 人	0 人 (中止)	63 人	51 人
区 分	R 元 実績				R 2 実績	R 3							
		目標	実績										
市町等職員研修会 等参加者数	64 人	0 人 (中止)	63 人	51 人									
兵庫県災害廃棄物対策事業	<p>災害時に災害廃棄物を迅速かつ適切に処理できるよう平時から発災時に備えるため、市町支援の一環として、県と連携して、災害廃棄物処理を担う職員育成を図るための研修会（講演、事例報告）を Web 形式で実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマ：「災害廃棄物処理計画の実効性を高めるために」</li> <li>・実施日時・参加者：7 月 30 日・接続数 53PC</li> </ul>												

事業名	事業内容・実績
<p>兵庫県災害廃棄物対策協力員制度の運用</p> 	<p>災害廃棄物を迅速かつ適切に処理できるよう市町への助言を行うため、平成27年9月に協会が設置した「兵庫県災害廃棄物対策協力員制度」の円滑な運用を図った。</p> <p>また、登録のあった兵庫県災害廃棄物対策協力員を対象に、災害廃棄物対策を巡る国や県の動き等に関する研修会を開催した。</p> <p>[研修会の内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日 令和4年1月19日</li> <li>・参加者 12人</li> <li>・研修テーマ <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 災害廃棄物対策に関する最近の動向</li> <li>▶ 姫路市で発生した鳥インフルエンザへの対応</li> </ul> </li> </ul>
<p>兵庫方式による廃家電回収システムの推進</p>	<p>家電リサイクル法<sup>※1</sup>の確実な運用と消費者が負担する費用の軽減を図るため、県が導入した廃家電の回収・運搬システム“兵庫方式”<sup>※2</sup>の円滑な運営を図るため、協会ホームページ等で県民に広く普及啓発を図った。</p> <p>※1 家電リサイクル法：廃家電製品（TV・洗濯機・冷蔵庫（冷凍庫）・エアコン・衣類乾燥機）から鉄、銅、アルミ、ガラス等の材料をリサイクルし、廃棄物減量と資源の有効利用を推進する法律</p> <p>※2 兵庫方式：兵庫県電機商業組合登録者が対象機器（引取り義務化されていないものを含む）を消費者から引き取り、広域的に回収・運搬するもの</p>
<p>廃棄物等不適正処理適正化事業</p>	<p>次の3事業をメニュー化しているが、令和3年度は、いずれの事業も該当案件はなかった。</p> <p>① 原状回復事業  投棄原因者が不明又は資金力不足の場合、土地所有者・県市町等の要請に基づき、基金委員会で審査のうえ、原状回復事業を行う。</p> <p>② 不法投棄量等調査事業  不法投棄量等を把握する必要があるとき、投棄原因者が不明又は資金力不足の場合、土地所有者・県市町等の要請に基づき、基金委員会で審査のうえ、協会が調査を実施する。</p> <p>③ 未然防止及び再発防止対策に係る助成事業  市町等の要請に基づき、廃棄物の不法投棄・不適正処理の未然防止及び再発防止対策に対して助成を行う。</p>

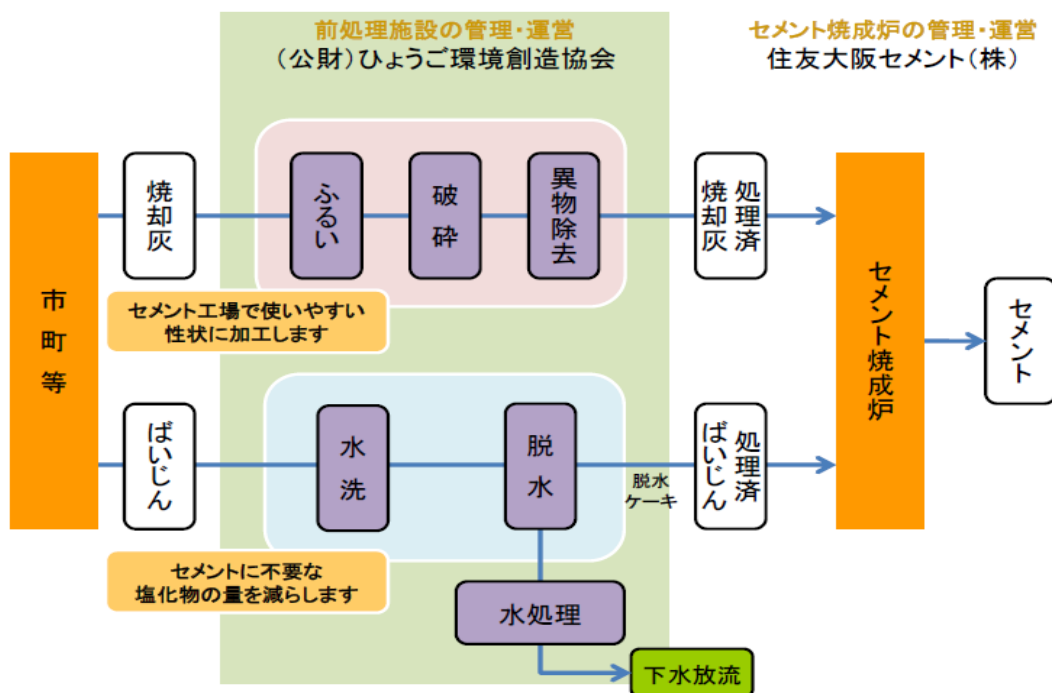
## (2) 廃棄物の再資源化事業（セメントリサイクル事業）

市町等のごみ焼却施設から排出される焼却灰及びばいじんの再資源化事業を、住友大阪セメント（株）と共同して取り組んでいる。

セメントリサイクル事業に参画する市町等のさらなる拡大・受入量の増加を図った。

区 分	(公財)ひょうご環境創造協会	住友大阪セメント(株)
事業分担	・市町等からの焼却灰・ばいじんの受入 ・焼却灰及びばいじんをセメント原料として利用するための前処理	・前処理後物のセメント焼成処理
事業場所	(公財)ひょうご環境創造協会赤穂事業所 赤穂市西浜町 1016-1	住友大阪セメント(株)赤穂工場 赤穂市折方字中水尾 1513
処理能力	焼却灰 110.0t/日 ばいじん 48.0t/日	—
年間処理可能量	焼却灰 26,000t/年 ばいじん 10,000t/年	—

区 分	R元 実績	R2 実績	R3	
			目標	実績
焼却灰受入量	17,262t	16,528t	17,500t	16,948t
ばいじん受入量	7,211t	6,963t	5,540t	5,479t
計	24,473t	23,492t	23,040t	22,427t



[焼却灰等セメントリサイクルフロー図]


### (3) 廃棄物の最終処分事業（フェニックス受託事業）

大阪湾フェニックス計画<sup>\*1</sup>を円滑に推進するため、事業受託が可能な兵庫県内で唯一の広域的な廃棄物処理団体である本協会が、兵庫県域の受入基地における廃棄物及び残土の受入業務を大阪湾広域臨海環境整備センター<sup>\*2</sup>から受託し、受付計量・船舶投入・保管等を行った。

業 務 場 所	業務内容
尼崎沖処分場（尼崎市東海岸町地先）	受付計量業務
尼崎基地（尼崎市平左衛門町70番地） 神戸基地（神戸市灘区灘浜町1番2号） 播磨基地（加古郡播磨町新島13-1） 津名基地（淡路市志筑新島） 姫路基地（姫路市飾磨区今在家字近藤新田1351番41）	受付計量業務 船舶投入業務 保管業務 等

- ※1 大阪湾フェニックス計画：広域臨海環境整備センター法に基づき、大阪湾内に4つの海洋埋立処分場を整備し、焼却灰、ばいじん等の一般廃棄物、建設残土、解体ごみ等の産業廃棄物を受入れ、適正処分する計画。
- ※2 大阪湾広域臨海環境整備センター：大阪湾フェニックス計画に基づき近畿圏内の県（6団体）・市町村（168団体）港湾管理者（4団体）の出資に基づき昭和57年3月に設立され、長期的で安定的な最終処分場の運営を行う事業主体。（4処分場と9搬入基地を運営）

### (4) 環境ビジネスの推進（ひょうごエコタウン構想）


事 業 名	事 業 内 容 ・ 実 績			
「ひょうごエコタウン推進会議」への支援  ひょうご環境ビジネス展	兵庫県が策定した「ひょうごエコタウン構想 <sup>*1</sup> 」の実現に向け、当協会が事務局となっている「ひょうごエコタウン推進会議」 <sup>*2</sup> に対し、リサイクルに係る研究会の運営及び事業化の支援を行った。			
	区 分	R元 実績	R 2 実績	R 3 目標   実績
	研究会の運営数	5件	5件	2件   3件
	事業化数	1件	0件	1件   1件
	[研究会テーマ] ▶ 鉄鋼スラグ <sup>*3</sup> 利用拡大（陸域利用）、減災工法 ▶ 放置竹林資源化 ▶ CNF <sup>*4</sup> 活用による植物性廃棄物の資源化  [普及啓発活動] ▶ 例年開催される国際フロンティア産業メッセに、「ひょうご環境ビジネス展」等の併催 ○ ひょうご環境ビジネス展 ・開 催 日：令和3年9月2日、3日			



	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開催場所：神戸国際展示場 1・2号館</li> <li>・参加者数：約 7,100 人（2日間計）</li> <li>○ ひょうご環境ビジネスセミナー <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日：令和3年9月3日</li> <li>・開催場所：神戸国際展示場 2号館 3階 3B会議室</li> <li>・参加者数：35人</li> </ul> </li> <li>➤ 研究進捗報告会の開催（Web） <ul style="list-style-type: none"> <li>○第1回 <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日：令和3年6月16日</li> <li>・参加者数：53人</li> </ul> </li> <li>○第2回 <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日：令和4年3月23日</li> <li>・参加者数：31人</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>
	<p>※1 ひょうごエコタウン構想：地域の産業振興を図りながら、環境と調和したまちづくりの推進を目的とした国のエコタウン構想に基づき、平成15年4月に環境省・経済産業省両省から共同承認を受けた構想(近畿では初)</p> <p>※2 ひょうごエコタウン推進会議：ひょうごエコタウン構想を推進するための会議体（構成員：県民・事業者・大学・研究機関・団体・行政）。事業化支援・情報収集及び提供、調査・研究等の活動を行う</p> <p>※3 鉄鋼スラグ：鉄鋼製造工程において副産物として発生するもので、高炉スラグと製鋼スラグがある</p> <p>※4 CNF：セルロースナノファイバー（Cellulose nanofiber）の略。軽量ながら鋼鉄の5倍以上の強度を持ち、熱による変形が少ない等の特徴がある植物由来の高機能次世代素材。自動車部品や情報電子材料等への応用が研究されている</p>

### (5) 普及啓発事業

循環型社会構築を目指した県民レベルのさまざまな活動を促進するため、地域における3R推進活動を担う人材育成とその活動支援を行った。

事業名	事業内容・実績			
<p>クリーンアップ ひょうごキャンペーン※1</p>  <p>(須磨海浜公園駅前の実施)</p>	<p>ごみの散乱を防止し、ひょうごのイメージアップを図るため、5月30日（ごみゼロの日）から9月30日まで、新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮しつつ、県民、NPO、事業者、行政と共に、県内全域において環境美化統一キャンペーンを展開したが、新型コロナウイルス感染対策の影響により、令和2年度に続き参加者は目標を下回った。</p>			
	区分	R元 実績	R2 実績	R3
				目標   実績
	参加者数	764,691人	150,864人	650,000人   207,473人

事業名	事業内容・実績																		
	<div data-bbox="555 241 1267 674" data-label="Figure"> <p style="text-align: center;"><b>ごみ回収量と参加人数の推移</b></p> <table border="1"> <caption>ごみ回収量と参加人数の推移 (推定値)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>参加人数 (万人)</th> <th>ごみ回収量 (t)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>58</td> <td>4500</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>62</td> <td>6500</td> </tr> <tr> <td>R元</td> <td>75</td> <td>7000</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>15</td> <td>2500</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>20</td> <td>4500</td> </tr> </tbody> </table> </div> <div data-bbox="292 712 1321 902" data-label="Text"> <p>※ クリーンアップひょうごキャンペーン：環境省が提唱する「ごみ減量・リサイクル推進週間（5月30日（ごみゼロの日）～6月5日）から環境月間（6月）、海・開きのシーズン（7月）に、県内各地で環境美化活動を行うもので、4協賛団体・83協力団体（企業等）が参画。</p> </div>	年度	参加人数 (万人)	ごみ回収量 (t)	H29	58	4500	H30	62	6500	R元	75	7000	R2	15	2500	R3	20	4500
年度	参加人数 (万人)	ごみ回収量 (t)																	
H29	58	4500																	
H30	62	6500																	
R元	75	7000																	
R2	15	2500																	
R3	20	4500																	
<p>海岸漂着物地域対策推進事業※</p>	<p>海洋、海岸における良好な景観及び環境を保全するため、漂流・海底ごみ、海岸漂着物等の円滑な処理及び発生抑制を図っている。</p> <p>令和3年度は、環境美化活動における瀬戸内海側と日本海側の高校生の交流促進を図ることとしていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。</p> <div data-bbox="292 1240 1321 1406" data-label="Text"> <p>※ 海岸漂着物地域対策推進事業：国からの補助金を原資とし、兵庫県が毎年県内各地で行う事業。協会は、その一環として中高生を対象として行われる「環境学習（海岸漂着物回収等）」を毎年受託している</p> </div>																		
<p>地域別循環型社会づくり推進会議支援事業</p>	<p>ごみの減量化、再利用、再資源化等に配慮した県民・事業者の生活・事業活動の推進を図るため、複数の市町と消費者団体・事業者を構成員として設置された「地域別循環型社会づくり推進会議」※に対して、実践活動経費の一部を助成した。</p> <div data-bbox="292 1664 1321 1861" data-label="Text"> <p>※ 地域別循環型社会づくり推進会議：阪神・東播磨・西播磨・但馬・丹波・淡路の6つの会議体を母体に、消費者団体・事業者・行政間による意見交換や情報交換を通じ、クリーンアップひょうごキャンペーンやマイバッグキャンペーンへの参画、レジ袋削減運動等の活動を行う</p> </div>																		

事業名	事業内容・実績
「プラスチックごみゼロアクション」の展開	<p>兵庫県では、レジ袋削減運動の強化やペットボトル分別促進など、リデュース、リサイクルはもとより、不法投棄防止やバイオプラスチックの利用、海洋プラスチック対策を進める「プラスチックごみゼロアクション」を進めている。</p> <p>レジ袋の収益金等の寄付の受入先である「循環型社会形成推進基金」を活用し、この取組を県民等に広く周知するための計画を策定した。</p>
3R推進活動支援事業	<p>地域における3Rの推進活動を担う人材のスキルアップを図ることを目的に、「ひょうご3Rネットワーク登録者」（3R・低炭素社会検定試験合格者が対象）に対し、施設見学会を実施することとしていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。</p>



## 4 環境調査・測定分析事業（環境技術事業本部）



運営責任と収支の明確化等を図るため導入した社内カンパニー制の下、事業量を確実に処理することができ、かつ、収益面も考慮した体制を構築し、独立採算を旨とした環境調査・測定分析事業を推進した。

### （1）営業活動の推進

協会の特徴的な分野を前面に打ち出すとともに、各主体間の調整を行う公的セクターとしての強みを活かしながら、戦略的に以下に示す営業活動を推進し、総合的なコンサルティング事業や測定分析事業などの受注拡大を図った。

- ① 発注情報の早期収集、継続事業の確保等、積極的な営業活動の推進
- ② 顧客の信頼による継続した受注確保
- ③ 協会の強みを活かした受注促進（土壌汚染調査、アスベスト・PM2.5（微小粒子状物質）・ダイオキシン類・クリプトスポリジウム<sup>※1</sup>等の分析）
- ④ 環境研究センターとの一体的運用による高度な業務の受注拡大
- ⑤ 学識者や事業者など、人的ネットワークの拡大
- ⑥ 環境DNA<sup>※2</sup>による生物生息調査など新規調査・分析分野の展開

【環境調査・測定分析事業の年間総受託額】

（単位：百万円）

区 分	R元 実績	R 2 実績	R 3	
			目標	実績
環境調査事業	88	101	94	77
測定分析事業	472	439	436	447
計	560	540	530	524


※1 クリプトスポリジウム：下痢等が重症化する感染症を起こす原虫

※2 環境DNA：生物の糞や表皮に含まれるDNAのこと。環境中に放出されたこのDNAを分析することにより、その生物の生息を確認することができる

### （2）環境調査事業

生物多様性保全に係る調査や計画策定など、環境調査事業を公正・中立的な立場で実施した。

また、顧客が抱える課題解決に向けた提案を行うなど、積極的に業務の受注を進めた。

事業名	事業内容・実績
自然環境の保全に係る調査分析 	森林保全、自然再生、貴重な動植物・生態系の保全、環境影響評価などに関連して、現地調査、解析、とりまとめを行った。
自然環境の保全に係る計画作成	森林保全理、自然再生、貴重な動植物・生態系の保全に関する計画や、管理計画の作成を行った。


区分	R元 実績	R2 実績	R3 実績
受託件数	43件	46件	45件

### (3) 測定分析事業


#### ① 測定分析業務

環境計量証明事業所として、土壌汚染調査、アスベスト調査、PM2.5成分分析、ダイオキシン類分析、クリプトスポリジウム分析、廃棄物処理施設設置時の生活環境影響調査など、協会の強みを生かしつつ、迅速に正確に、目標日数の範囲内で調査・分析を行った。

また、環境DNA分析など、新たな測定分析技術を用いた収益事業の展開を図った。

事業名	事業内容・実績
水質調査・分析  (海域の調査)	河川、海域、地下水、工場排水、下水等の調査・水質分析や、上水や水道原水の水質分析及びクリプトスポリジウム※等の耐塩素性病原微生物の分析を行った。  ※ クリプトスポリジウム：下痢等が重症化する感染症を起こす原虫。
廃棄物・ごみ質等の分析	市町の一般廃棄物処理施設等から排出される廃棄物、焼却灰、汚泥等に含まれる金属等の溶出試験、ごみ質分析を行った。
温泉成分等の測定・分析	温泉成分及び温泉に係る可燃性ガスの定期的な測定・分析を行った。

事業名	事業内容・実績
<p>土壌汚染等の調査</p>  <p>(土壌試料の採取)</p>	<p>地歴調査※、土壌ガス調査、土壌溶出量調査、土壌含有量調査及び地下水の汚染状況調査を行った。</p> <p>※ 地歴調査：土地利用状況調査や登記等資料調査により、土壌汚染の可能性を調べる調査</p>
<p>大気環境の測定・分析</p>  <p>(PM2.5の試料採取)</p>	<p>工場等の発生源や一般環境・道路沿道における大気汚染物質濃度、PM2.5（微小粒子状物質）の成分、騒音、振動及び悪臭などの測定・分析を行った。</p>
<p>有害化学物質及びアスベストの測定・分析</p>  <p>(アスベストの採取状況)</p>	<p>ダイオキシン類、残留性有機汚染物質※など、極微量有害化学物質の分析や、室内空気中のホルムアルデヒド・トルエンなどの化学物質濃度測定を行った。</p> <p>また、建材中・大気中のアスベストの測定・分析を行った。</p> <p>※ 残留性有機汚染物質：DDT 等人体・生態系に悪影響を及ぼす難分解性有機化合物</p>
<p>作業環境の測定</p>  <p>(作業環境測定)</p>	<p>「労働安全衛生法」に基づく作業環境測定※を行った。</p> <p>※ 作業環境測定：労働者の健康障害を予防するため、空気中の有害物濃度を測定し、評価するもの</p>
<p>生活環境影響調査</p>  <p>(環境調査(騒音測定))</p>	<p>ごみ処理施設、産業廃棄物中間処理施設や最終処分場などの設置事業に際して、廃棄物処理法に基づき生活環境影響調査※を行った。</p> <p>※ 生活環境影響調査：周辺地域の生活環境に配慮するため、許可を必要とする廃棄物処理施設を設置する際に義務づけられる環境調査。</p>

事業名	事業内容・実績
環境DNA分析  (環境DNAの採取状況)	<p>環境DNA分析手法を活用し、これまで希少種の分布調査、外来生物の侵入状況調査、河川や海域の魚類のデータベース作成等を通じて、県市等の生物多様性の保全施策に貢献してきた。</p> <p>令和3年度は、この環境DNA分析手法を用いて、「希少野生生物生息状況調査」「かいぼりによる外来生物早期発見対策事業」「太陽光発電の設置に係るため池の魚類調査」等を行った。</p> <p>※ 網羅的解析：魚類などの特定の生物群をまとめて検出し、どのような魚が生息しているかを推定する方法</p>

区分	環境水・工場排水	水道水	ばい煙
目標分析日数	14日間	10日間	21日間

[受託件数]

事業区分	H29実績	H30実績	R元実績	R2実績	R3実績
水質・土壌・産業廃棄物関係	35,492件	38,289件	38,535件	35,120件	37,388件
水道水質検査関係	21,983件	26,378件	41,490件	32,019件	26,526件
大気・悪臭関係	32,330件	26,569件	26,969件	25,369件	21,791件
作業環境測定関係	1,747件	2,408件	1,405件	1,253件	1,192件
騒音・振動関係	133件	95件	98件	88件	128件
合計	91,685件	93,739件	108,497件	93,849件	87,025件

## ② 精度管理の向上

内部精度管理及び外部精度管理の年間実施計画を策定し、計画的に実施することなどにより測定値の信頼性を確保・維持した。

## 5 環境研究事業（兵庫県環境研究センター）




### (1) 多様化する環境問題への対応

瀬戸内海における栄養塩類の適切な管理、新たな残留性有機汚染物質による環境汚染、PM2.5（微小粒子状物質）による大気汚染など兵庫県が抱える環境問題について調査研究を行い、県行政に科学的知見を提供した。

研究成果発表数は、意欲的な目標を立てたが、前年度から続いている新型コロナウイルスの影響などにより、前年と同数の19件となった。その中でも、大気環境学会、水環境学会等で精力的に研究発表を行い、2021年度水環境学会地域水環境行政研究委員会優秀論文賞及び日本環境化学会の第28回環境化学論文賞を受賞する等、学会から高い評価を得た。

区 分	R元 実績	R 2 実績	R 3	
			目標	実績
研究成果の発表数	26 件	19 件	25 件	19 件
国立環境研究所・地方環境研究所との共同研究数	6 件	6 件	6 件	6 件

#### ① 瀬戸内海の栄養塩管理等に関する研究の推進

事業名	事業内容
豊かで美しい瀬戸内海の再生に資する適切な水質環境の探索  海底間隙水の採水管の設置	豊かで美しい瀬戸内海の再生のための適切な栄養塩類管理に必要な科学的知見の収集を目的として、採水分析、室内実験、現場観測及びシミュレーションモデル解析を行い、海の有機物分解や栄養塩類再生の促進を主とした物質循環について調査した。その結果、下水処理場の栄養塩類増加運転を実施した場合に、供給された栄養塩類がプランクトンを経て魚類に使用されることが示唆された。また、県と漁協による海域への施肥試験において、周辺水質をモニタリングし、影響評価を行った。



事業名	事業内容
<p>有害化学物質による潜在的リスクの把握に関する研究</p>  <p>海底泥の採取風景</p>	<p>PRTR法（化学物質排出把握管理促進法）や事業場情報に基づいて抽出した調査対象化学物質や、残留性有機汚染物質として国際的に規制されている短鎖塩素化パラフィンについて、環境調査を行い、排出実態の解明やリスク評価を行った。</p> <p>有機フッ素化合物については、マトリクスが多い最終処分場浸出水の前処理方法を適用に成功し、前駆物質を含めて同族体を検出することが出来た。また、ベンゾトリアゾール系紫外線吸収剤やりん酸エステル系難燃剤の実態調査からHQ（ハザード比）を算出した結果、1を大きく下回り、健康に影響を及ぼす恐れは低いことが分かった。なお、ネオニコチノイド系農薬の濃度実態調査では、田植えや航空防除を反映した濃度変動結果が得られた。</p>
<p>観測及び数値解析による大気汚染の解明に関する研究</p>  <p>PM2.5の実船測定</p>	<p>PM2.5や光化学オキシダントの原因物質を観測し、濃度変動の把握、大陸からの移流を踏まえた広域的または県特有の局所的な高濃度現象の調査・解析を行った。また、高濃度予測日に、迅速なサンプリング・有機物分析やVOCの調査体制を強化した。特に、PM2.5については、国際条約に基づく船舶燃料の規制が進行していることから、船舶排ガスの実船調査結果をもとに、2020年前後のPM2.5成分分析結果を解析したところ、重油由来の金属成分比が大きく変化している結果が得られた。</p> <p>解体現場等周辺調査分析業務で得られた膨大なサンプルを、画像処理し、アスベスト繊維を特定し、自動計測できるシステムを開発し、さらなる精度の向上に努めた。</p>

## ② 国立環境研究所及び地方環境研究所との共同研究の推進

	共同研究課題名	実施年度	共同研究機関
大気環境科	光化学オキシダントおよびPM2.5汚染の地域的・気象的要因の解明	2019～ 2021年度	47機関
水環境科 (安全科学担当)	災害時等の緊急調査を想定したGC/MSによる化学物質の網羅的簡易迅速測定法の開発	2019～ 2021年度	41機関
水環境科 (安全科学担当)	LC-MS/MSによる分析を通じた生活由来物質のリスク解明に関する研究	2019～ 2021年度	26機関
水環境科 (水質担当)	沿岸海域における新水質環境基準としての底層溶存酸素（貧酸素水塊）と気候変動の及ぼす影響把握に関する研究	2020～ 2022年度	19機関

	共同研究課題名	実施年度	共同研究機関
水環境科 (安全科学担当)	廃棄物の不適正管理に起因する環境影響の未然防止に係る迅速対応調査手法の構築	2020～ 2022年度	14機関
水環境科 (水質担当) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">新規</span>	里海里湖流域圏が形成する生態系機能・サービスとその環境価値に関する研究	2021～ 2023年度	15機関

### ③ 県の常時監視等に係る調査・分析・解析の推進

#### ア 大気汚染対策調査業務

〔 ダイオキシン類、ばい煙、揮発性有機化合物（VOC）、  
酸性雨、有害大気汚染物質、アスベスト 等 〕

#### イ 水質汚濁対策調査

〔 水質環境基準、工場排水、土壌汚染、  
排出基準未設定化学物質調査 等 〕

#### ウ 化学物質環境実態調査分析

#### エ PM2.5成分分析・解析業務

#### オ 地球温暖化対策の推進に係る調査業務

#### カ 環境放射能水準調査

#### キ PM2.5及び光化学オキシダントの形成に係る有機物分析・解析業務

#### ク 光化学オキシダント自動計測器の精度管理

#### ケ 農薬残留対策総合調査

#### コ 栄養塩循環メカニズム解明調査及び研究

#### サ 施肥影響把握モニタリング業務

## (2) 環境危機への対応

県と連携し、光化学スモッグ等による大気汚染や、建築物解体におけるアスベスト漏出、工場事故等による水質汚染、危険物が含まれている可能性のある海岸漂着物などに適切に対応するため、環境危機調査を行い対策等を検討するほか、原子力規制庁と連携し、北朝鮮核実験時の緊急放射能測定などを実施している。

令和2年度に発覚したメッキ工場廃液タンクからの六価クロム漏洩事件に関して、引き続き県と連携しての経過確認調査を実施した。

また、環境危機への対応能力を向上させるため、次の活動を行った。

#### ア 汚染源の推定手法に関する調査研究

#### イ 多種多様な化学物質の網羅的迅速分析に関する調査研究

#### ウ 最終処分場浸出水などマトリクスが多い試料水の前処理方法の検討



#### エ 国立環境研究所等との緊急時における協力体制づくり

#### オ これまでの事例の整理と他府県との情報交換

## 6 国際協力事業



兵庫県と協力しながら、長年にわたって培ってきた環境に関するさまざまなノウハウ、技術力等を活かした国際協力事業を展開している。

事業名	事業内容・実績															
<p>JICA受託研修事業(総合的な廃棄物管理コース、廃棄物管理技術&lt;基本、技術編&gt;コース)</p>  <p>JICA 受託研修事業</p>	<p>開発途上国の行政機関等の廃棄物管理担当行政官・技官を対象に、日本の廃棄物管理政策・ごみ減量・発生抑制・リサイクルならびに適正処理に関する研修を行った。令和3年度は、令和2年度繰り越し分(遠隔研修)と令和3年度分(1コース、遠隔研修)を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象国：JICAにて選定(中東、アジア、アフリカ、東欧等)</li> <li>・対象人数：7人</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">R元 実績</th> <th rowspan="2">R2 実績</th> <th colspan="2">R3</th> </tr> <tr> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受託額</td> <td>3,926千円</td> <td>2,082千円</td> <td>7,820千円</td> <td>6,999千円</td> </tr> </tbody> </table>				区分	R元 実績	R2 実績	R3		目標	実績	受託額	3,926千円	2,082千円	7,820千円	6,999千円
区分	R元 実績	R2 実績	R3													
			目標	実績												
受託額	3,926千円	2,082千円	7,820千円	6,999千円												
<p>セルビア共和国パンチェボ市における産学官民の協働による環境改善推進事業〔JICA 草の根技術協力(パートナー型)事業〕</p>  <p>オンライン会議</p>	<p>2014年3月から2017年3月にかけてJICA草の根技術協力事業で残留性有機汚染物質の分析体制強化を行った。これを基礎に、2020年2月からパンチェボ市の環境修復が産学官民の連携によって自立的に推進されるようになる連携体制の構築を目指し、現地の課題となっている①自然公園の再生、②石油化学工場の土壌汚染対策、③古い廃棄物処分場対策に取り組んでいる。</p> <p>令和3年度は、日本人専門家の現地派遣(3回/年)及びセルビア側関係者の訪日研修(1回/年)などを予定していたが、新型コロナウイルスの影響により、現地派遣、訪日が困難になったことから、オンラインで、産学官民で構成されるワーキンググループ会議(4回開催)などを行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">R元 実績</th> <th rowspan="2">R2 実績</th> <th colspan="2">R3</th> </tr> <tr> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受託額</td> <td>4,040千円</td> <td>5,005千円</td> <td>3,270千円*</td> <td>2,767千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※R3年度補正予算時の目標</p>				区分	R元 実績	R2 実績	R3		目標	実績	受託額	4,040千円	5,005千円	3,270千円*	2,767千円
区分	R元 実績	R2 実績	R3													
			目標	実績												
受託額	4,040千円	5,005千円	3,270千円*	2,767千円												



## 7 太陽光発電事業

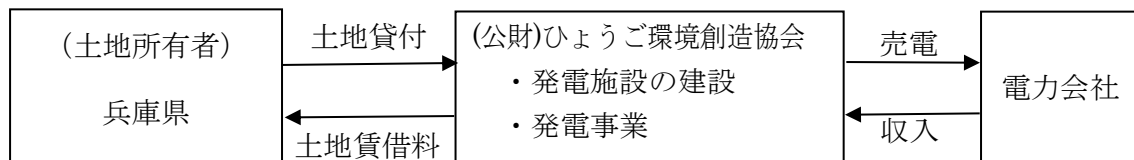


再生可能エネルギーの創出に貢献するため、尼崎沖フェニックス事業用地管理型区画において、再生可能エネルギー固定価格買取制度を活用した大規模太陽光発電事業を実施した。

区分	事業内容
発電所の名称	エコひょうご尼崎発電所
事業面積	約 15h a
発電規模	約 10 メガワット (9,863 キロワット)
売電期間	平成 26 年 12 月 1 日～20 年間



### 【事業スキーム】



区分	R元 実績	R 2 実績	R 3	
			目標	実績
売電量(kWh)	13,223,650	13,312,588	13,000,000	12,982,940
売電収入(千円)	582,177	592,586	572,000	571,249

### ○ 太陽光発電事業収益活用事業の実施について

太陽光発電事業により発生する収益の一部について、地球温暖化防止施策をはじめとする環境分野の公益事業に活用した。

#### 【実施事業の基本的な考え方】《定款の目的に適う公益事業》

- 地球温暖化対策の推進
- 生物多様性保全の推進
- 環境学習・教育の推進
- 再生可能エネルギー導入の推進
- 廃棄物等の適正で広域的・効果的な処理
- その他、目的を達成するために必要な事業

### ○ 太陽光発電事業収益の兵庫県への拠出（寄附）

兵庫県地球温暖化対策推進計画に基づく事業展開を支援するため、太陽光発電事業収益の一部を兵庫県へ拠出（寄附）した。

## 8 当該法人の状況に関する重要な事項

### (1) 法人の概況

#### ① 設立年月日

1972年（昭和47年）5月31日

#### ② 定款に定める目的

この法人は、環境適合型社会の形成を目指し、環境に関する県民、事業者の実践活動の促進及び行政との連携・調整、環境に関する調査・研究・分析・測定、廃棄物等の適正で広域的・効率的な処理を行うことにより、環境の保全と創造に資することを目的とする。

#### ③ 定款に定める事業内容

- ・ 環境に関する普及啓発及び活動支援
- ・ 環境学習・教育の推進
- ・ 環境に関する情報の収集及び提供
- ・ 再生可能エネルギー導入の推進
- ・ 環境に関する調査・研究
- ・ 大気、水質、土壌、臭気、騒音、振動の調査・分析・測定
- ・ 市町等の委託を受けて行う一般廃棄物の処理及び施設の設置・改良・維持管理
- ・ 事業者の委託を受けて行う産業廃棄物の処理及び施設の設置・改良・維持管理
- ・ 残土の処分
- ・ 前各号に掲げるもののほか、この法人の目的を達成するために必要な事業

#### ④ 会員の状況

本年度末時点での会員数は、782団体・個人となっている。

#### ⑤ 主たる事務所の状況

所在地：神戸市須磨区行平町3丁目1番18号

#### ⑥ 役員等に関する事項

- ・ 本年度末時点での役員は、理事10名、監事2名である。  
＜別表1・役員名簿参照＞
- ・ 本年度末時点での評議員は、12名である。  
＜別表2・評議員名簿参照＞
- ・ 本年度末時点での評議員選定委員は、5名である。  
＜別表3・評議員選定委員名簿参照＞

## (2) 事業の概況

### ② 直前3事業年度の財産及び損益の状況

(単位：千円)

区 分		令和元年度	令和2年度	令和3年度
一 般 正 味 財 産	経 常 収 益	2,593,999	2,829,547	2,491,933
	経 常 費 用	2,588,046	2,801,765	2,371,101
	経 常 増 減 額	5,953	27,782	120,832
	経 常 外 増 減 額	△23,048	△51,310	△54,934
	一般正味財産増減額	△17,095	△23,528	65,898
	一般正味財産期首残高	4,471,595	4,454,500	4,430,972
	一般正味財産期末残高	4,454,500	4,430,972	4,496,870
指 定 正 味 財 産	補 助 金 等	0	507	0
	受 取 寄 附 金	7,180	22,952	12,804
	一般正味財産への振替額	△28,943	△20,683	△19,670
	指定正味財産増減額	△21,763	2,776	△6,866
	指定正味財産期首残高	981,208	959,445	962,221
	指定正味財産期末残高	959,445	962,221	955,355
正味財産期末残高		5,413,945	5,393,193	5,452,225

### ③ 対処すべき課題

- ・ 独立採算を旨とした環境調査・測定分析事業の推進
- ・ セメントリサイクル事業の収益確保に向けた営業活動の強化
- ・ 太陽光発電事業の着実な推進

#### ④ 理事会、評議員会等に関する事項

##### <理事会の開催>

<p>みなし理事会 開催日 令和3年4月1日 決議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・評議員会の決議の省略についての承認</li> <li>・評議員会の決議事項 <ul style="list-style-type: none"> <li>役員等の選任</li> <li>定款一部変更</li> <li>役員等の報酬、手当及び旅費に関する規程の改正</li> <li>役員の報酬等の額の決定</li> <li>評議員選定委員の選任</li> </ul> </li> </ul> <p style="text-align: right;">(R3.4.1 付け全て可決された)</p>
<p>みなし理事会 開催日 令和3年4月1日 決議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・専務理事及び常務理事の選定</li> <li>・理事の業務分担</li> <li>・評議員選定委員の選任</li> </ul> <p style="text-align: right;">(R3.4.1 付け全て可決された)</p>
<p>第22回理事会 開催日 令和3年6月10日 会場 (公財)ひょうご環境創造協会 別棟2階会議室 出席者 理事総数10名(定足数6名) 出席理事7名 出席監事2名 決議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度事業報告及び決算の承認</li> <li>・評議員候補者の推薦</li> <li>・第12回定時評議員会の招集の決定</li> </ul> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・理事長等の職務執行状況</li> </ul> <p style="text-align: right;">(R3.4.1 付け全て可決された)</p>
<p>みなし理事会 開催日 令和3年6月28日 決議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・理事長、専務理事及び常務理事の選定</li> </ul> <p style="text-align: right;">(R3.6.28 付け全て可決された)</p>
<p>第23回理事会 開催日 令和4年3月10日 会場 (公財)ひょうご環境創造協会 別棟2階会議室 出席者 理事総数10名(定足数6名) 出席理事10名 出席監事1名 決議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度事業計画の変更及び収支予算の補正の承認</li> <li>・「PPA事業体の設立」の承認</li> <li>・令和4年度事業計画及び収支予算等の承認</li> </ul> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・理事長等の職務執行状況</li> </ul> <p style="text-align: right;">(R4.3.10 付け全て可決された)</p>

<評議員会の開催>

<p>みなし評議員会 開催日 令和3年4月1日 決議事項 ・役員等の選任 ・定款一部変更 ・役員等の報酬、手当及び旅費に関する規程の改正 ・役員等の報酬等の額の決定 ・評議員選定委員の選任</p>	(R3.4.1 付け全て可決された)
<p>第12回定時評議員会 開催日 令和3年6月28日 会場 (公財)ひょうご環境創造協会 資源循環部2階会議室 出席者 評議員総数12名(定足数7名) 出席評議員7名 出席監事2名 決議事項 ・令和2年度決算の承認 ・役員等の任期満了に伴う改選 報告事項 ・令和2年度事業報告</p>	(R3.6.28 付け全て可決された)

<評議員選定委員会の開催>

<p>第10回評議員選定委員会 開催日 令和3年6月15日 会場 (公財)ひょうご環境創造協会 資源循環部2階会議室 出席者 委員総数5名 / 出席委員5名 決議事項 ・副委員長の選任 ・評議員選任の件</p>	(R3.6.15 付け全て可決された)
---	---------------------

## 9 事業報告の附属明細

令和3年度事業報告には、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成していない。

(別表1・役員名簿)

公益財団法人ひょうご環境創造協会役員

(令和4年3月31日現在)

理事及び監事

役職	氏名	所属団体・職名	備考
理事	秋山 和裕	理事長	
理事	杉浦 聡	専務理事	
理事	小塩 浩司	常務理事	
理事	鷺見 健二	常務理事	
理事	横田 雅弘	常務理事	
理事	小椋 大輔	兵庫県環境保全管理者協会会長	
理事	藤定 孝光	(一社)兵庫県産業資源循環協会副会長	
理事	中谷 昌治	兵庫県電機商業組合副理事長	
理事	大久保 規子	大阪大学大学院法学研究科教授	
理事	巻野 和子	(一社)兵庫県計量協会常務理事	
監事	丸山 善幸		
監事	渡邊 康夫	公認会計士	

(理事10名・監事2名)

理事の任期 令和3年6月28日～令和5年6月(定時評議員会の終結の時まで)

監事の任期 令和3年6月28日～令和7年6月(定時評議員会の終結の時まで)

(別表2・評議員名簿)

公益財団法人ひょうご環境創造協会評議員

(令和4年3月31日現在)

氏名	所属団体・職名	備考
遠藤 英二	兵庫県環境部長	
福本 富夫	神戸市環境局長	
谷口 芳紀	兵庫県市長会会長(相生市長)	
清水ひろ子	兵庫県町村会監事(播磨町長)	
津田 佳久	兵庫県商工会議所連合会常務理事	
幸田 徹	兵庫県商工会連合会専務理事	
福岡 誠行	(一社)兵庫県自然保護協会理事	
鈴木 胖	(公財)地球環境戦略研究機関 関西研究センター所長	
政井 小夜子	兵庫県連合婦人会副会長兼書記・事務局長	
堂本 艶子	兵庫県消費者団体連絡協議会副会長兼事務局長	
盛岡 通	大阪大学名誉教授・関西大学名誉教授	
新澤 秀則	兵庫県立大学大学院社会科学部教授	

評議員 12名

任期 令和3年6月28日～令和7年6月(定時評議員会の終結の時まで)

(別表 3・評議員選定委員名簿)

公益財団法人ひょうご環境創造協会  
評議員選定委員会委員

(令和 4 年 3 月 31 日現在)

氏 名	所属団体・職名	備 考
福岡 誠行	(一社)兵庫県自然保護協会理事	評議員・委員長
泥 俊和	神戸商工会議所環境対策専門委員会委員長	外部委員
南本 伸一	兵庫県市長会事務局長	外部委員
丸山 善幸	(公財)ひょうご環境創造協会監事	監事・副委員長
戸島 真二	(公財)ひょうご環境創造協会経営企画部次長	事務局員







**公益財団法人 ひょうご環境創造協会**

〒654-0037 神戸市須磨区行平町3丁目1番18号  
 (代表) TEL:078-735-2737 FAX:078-735-2292

**経営企画部**

総務課・企画課・経理課 TEL・FAX: (代表に同じ)

**環境創造部**

環境創造課・ひょうごエコプラザ TEL: 078-735-4100  
 エコアクション21地域事務局ひょうご

TEL: 078-735-2780

温暖化対策第1課・兵庫県地球温暖化防止活動推進センター

TEL: 078-735-2738

再生可能エネルギー相談支援センター

TEL: 078-735-7744

環境創造部共通

FAX: 078-735-7222

**環境技術事業本部**

総務課・企画課・経理課 TEL・FAX: (代表に同じ)

営業推進課 TEL: 078-735-2739

FAX: 078-736-4550

環境調査課

TEL: 078-735-2291

FAX: 078-739-6811

業務サービス課

TEL: 078-735-2772

FAX: 078-736-4550

分析技術課・計量管理室

TEL: 078-735-2776

FAX: 078-735-1800

**兵庫県環境研究センター**

水環境科 (水質担当) TEL: 078-735-6911

水環境科 (安全担当) TEL: 078-735-6912

大気環境科 TEL: 078-735-6913

兵庫県環境研究センター共通 FAX: 078-735-7817



**ひょうご環境体験館**

〒679-5148 佐用郡佐用町光都1丁目330-3  
 TEL:0791-58-2065 FAX:0791-58-2069

**環境創造部 (温暖化対策第2課)**

〒650-8567 神戸市中央区下山手通5丁目10番1号  
 第1号館2F

(兵庫県農政環境部環境管理局温暖化対策課内)

TEL:078-362-3273 FAX:078-382-1580



**資源循環部 (循環推進課・事業課)**

〒650-0023 神戸市中央区栄町通4丁目2番18号  
 キンキビルディング2F、3F、4F  
 TEL:078-360-1308 FAX:078-360-1338

**〈事業所〉**

尼崎事業所 〒660-0087 尼崎市平左衛門町70  
 TEL:06-6418-2176 FAX:06-6418-9133

神戸事業所 〒657-0853 神戸市灘区灘浜町1番2号  
 TEL:078-802-3400 FAX:078-891-6342

津名事業所 〒656-2132 淡路市志筑新島  
 TEL:0799-62-5405 FAX:0799-62-5406

姫路事業所 〒672-8079 姫路市鶴居区今在家字近藤新田1351-41  
 TEL:079-231-5550 FAX:079-231-5551

播磨事業所 〒675-0155 加古郡播磨町新島13-1  
 TEL:079-437-6264 FAX:079-437-6272

赤穂事業所 〒678-0208 赤穂市西浜町1016-1  
 TEL:0791-45-2348 FAX:0791-45-2368

<https://www.eco-hyogo.jp>

